

日本語教育国際研究大会パネル：日本語教育における会話データ分析の社会的貢献の可能性を考える
調査報告③（国研の会話データ分析）

2012.8.19

熊谷智子（東京女子大学）

1. 国立国語研究所の研究成果（研究報告書）と会話データ分析

＜会話データの収集・分析＞

★面接調査の回答でなく、日常の言語使用の実際を見るために行われた「24 時間調査」

- ①国立国語研究所（1951）国研報告 2『言語生活の実態 ―白河市および附近の農村における―』
- ②国立国語研究所（1953）国研報告 5『地域社会の言語生活 ―鶴岡における実態調査―』
- ③国立国語研究所（1971）国研報告 41『待遇表現の実態 ―松江 24 時間調査資料から―』
（以上、秀英出版より刊行）

★話しことばの特徴（文構造、使用語彙、イントネーションなど）を調べるための談話データ分析

- ④国立国語研究所（1955）国研報告 8『談話語の実態』
- ⑤国立国語研究所（1960）国研報告 18『話しことばの文型(1) ―対話資料による研究―』
- ⑥国立国語研究所（1963）国研報告 23『話しことばの文型(2) ―独話資料による研究―』
（以上、秀英出版より刊行）

★談話行動の分析

- ⑦国立国語研究所（1987）国研報告 92『談話行動の諸相 ―座談資料の分析―』三省堂

＜「会話データ」に準ずるものの収集・分析＞

★調査回答データ

- ⑧国立国語研究所（1957）国研報告 11『敬語と敬語意識』秀英出版
- ⑨国立国語研究所（1983）国研報告 77『敬語と敬語意識 ―岡崎における 20 年前との比較―』三省堂
- ⑩国立国語研究所（2006）国研報告 123『言語行動における「配慮」の諸相』くろしお出版

★日本語教育映像教材のシナリオ分析

- ⑪国立国語研究所（1987）『日本語教育映画基礎編 総合文型表』日本シネセル
- ⑫国立国語研究所（1994）『日本語教育映像教材中級編関連教材「伝え合うことば」 4. 機能一覧表』日本シネセル

＜会話のデータベース、コーパス＞

- ⑬宇佐美洋（2005）「日本語学習者による日本語／母語発話の対照言語データベース」
- ⑭国立国語研究所『方言談話資料』 国研HPの「日本語情報資料館」でデータ公開
- ⑮国立国語研究所（2001・2008）『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成』国書刊行会
- ⑯国立国語研究所（2004）『日本語話し言葉コーパス』

2. 事例1：話しことば研究と教材開発、そしてさらに研究へ

⑤『話しことばの文型(1)』における「総合的文型」

表現意図を中心にして総合的文型をとらえることにした。すなわち、表現意図に応ずる各種の文表現において、どういう構文の型、イントネーションの型が用いられるかを整理してみようとした。(p.8)

※表現意図と文型（音調を含む）

⑪『日本語教育映画基礎編 総合文型表』における「文型」分類と「発話機能」分類による一覧表

⑫『日本語教育映像教材中級編 機能一覧表』における発話機能分類一覧

「発話機能」と「表現」の対応を一覧表で示す

2時間におよぶビデオ教材における発話の機能面からのインデックス付け

→ 会話分析のための発話機能研究（中田 1991、熊谷 1997）

3. 事例2：方言談話データの教材への利用

地方のEPA看護師研修生のための音声教材に方言談話データを利用

高年層の方言による普段の会話にふれる

⑭⑮のような、音声および文字化資料（⑮は共通語訳付き）の活用の可能性

4. 研究と教育の連携に向けて

★『話しことばの文型(1)』

われわれは今、当面の目的を、国語教育や外国人に対する日本語教授のためというふうには置いていないが、そういう方面に対する基礎的研究としても役立てられるものを、研究結果として生み出そうとしているのである。のちにも述べる基本文型というものを考えるためにも、有用な基礎的資料の一つになるべきものである。(p.13)

★方言談話の収集時、方言研究者たちは今日のような用途を想像したか？

【参考文献】

熊谷智子（1997）「はたらきかけのやりとりとしての会話 ―特徴の束という形でみた「発話機能」―」 茂呂雄二編『対話と知 ―談話の認知科学入門―』新曜社 pp.21-46.

中田智子（1991）「発話分析の観点 ―多角的な特徴記述のために―」 国立国語研究所『研究報告集 12』秀英出版 pp.279-306.